

平成 20 年度 新学術領域研究（研究領域提案型） 審査結果の所見

研究領域名	多様性と非対称性を獲得する RNA プログラム	
領域代表者名	稲田 利文 （名古屋大学・大学院理学研究科・准教授）	
研究期間	平成 20 年度～ 24 年度	
<p>【科学研究費補助金審査部会における所見】</p> <p>RNA研究は昨今国際的に見ても非常に競争が激しく、非常に重要度を増している領域である。本研究領域は我が国の優れたRNA研究の成果を受け、若手研究者を中心として、最近成果を挙げてきた他の研究領域の若手研究者と研究組織を構成している。複雑で巧妙な生命体の構築の基本原則として、遺伝子産物が「非対称性」と「多様性」を獲得する原理、またそれを支える「品質保証機構」がどのように制御されているかを目的とし、その最も重要な分子基盤であるRNAの研究を通して、これら3つの「プログラム」の解明を目指している。その中で、研究計画は、焦点が絞られ、生命現象の大きな3つの課題をRNA制御の観点の正面から取り組み、力強さを感じる。それぞれの「RNAプログラム」の研究が個々に進展し、それらを統合的に高めていく努力を怠らなければ、既存の枠を超えた新たなRNA研究の潮流が生まれることも期待される。</p>		